

WEST LIFE

令和7年11月21日(金)

校長の目



写真は、今朝スカイバルコニーから見た富士山の様子です。すでに冠雪しています。冬になると空気中の水蒸気が減って、遠くまでクリアに見えるようになりますが、富士山が見えるようになるといよいよ冬に入ったと実感します。気温の上昇に伴い霞がかかって、お昼ごろにはほぼ見えなくなってしましましたが、夕方になると、西日に照らされて黒いシルエットの雄大な姿を現すようになります。



昨日の記事で本校のインフルエンザは小康状態とお伝えしたばかりでしたが、本日1年生で急激に増加していました。全クラスで感染者が複数確認され、また発熱者も増加していることから、学校医とも相談して学年閉鎖を決定しました。詳細は、すでに一斉メールで配信しておりますので、ご確認ください。やはり、今期のインフルエンザの感染力はすさまじいものがあります。一人一人が感染予防対策をしっかりと行っていく必要があります。

ふれあい西中祭でも大好評だった、学校ファームの野菜。環境委員の生徒が毎日水やりなどの世話をしているので、すくすく成長しています。大根、かぶ、ブロッコリー、ラディッシュ、水菜、小松菜など食べごろです。下仁田ネギとサニーレタスはあと少し、ニンニクは来年の6月ごろ収穫予定です。白菜も育てています。虫に食べられたり、霜害を避けるため、地域の方がネットを張ってくれました。いつも気にかけていただき、本当に感謝しています。



3年生は、三者面談期間を終え、先日は受験票用の個人写真撮影を行いました。目指す進路に向けて、一つ一つ進んでいます。掲示板には、受験までのスケジュールが大きく張り出されています。見通しをもって毎日を大切に過ごしたいものです。反対に、こういったスケジュールを見た瞬間、残り時間のプレッシャーに押しつぶされそうになる生徒もいます。時間は、誰にとっても平等です。焦ってばかりいても、集中して準備を進めても、同じように時は進みます。掲示板には、「受験は団体戦」と大きく書かれていました。この言葉は、毎年3年生に伝えている言葉です。もちろん、試験当日は個人ががんばるしかないのですが、それに至るアプローチはみんなで励まし合い支え合っていこうという意味です。苦しいときの仲間の存在は心強いもの。これからが正念場です。



11月25日～26日は、定期試験のため、「WEST LIFE 校長の目」は、お休みします。